

ドクター長尾のオトナのための死の授業 7

柄本佑主演、高橋伴明監督、長尾和宏原作の映画『痛くない死に方』がほぼ完成しました。

上映は来夏以降を予定しておりますが、今回は、名匠・高橋伴明監督をゲストに迎え、性と生と死について語り合おうと思います。高橋監督は1972年に『婦女暴行脱走犯』で監督デビュー。

その後、ピンク映画の旗手として大暴れ。そして、1982年に『TATOO<刺青>あり』が大ヒット。その後も数々の社会派作品を発表してきました。しかし、その原点はやはりピンク映画自体に培われたもの—「全裸監督」で世の中がザワついている今、ピンク映画とAVを分けるもの、さらに今回の映画のテーマ、死とエロスについて、大いに語り合います!



長尾和宏 (『痛くない死に方』原作者)

プログラム

第一部

- 19時～
『襲られた女』
上映会
- 20時20分～30分
休憩

第二部

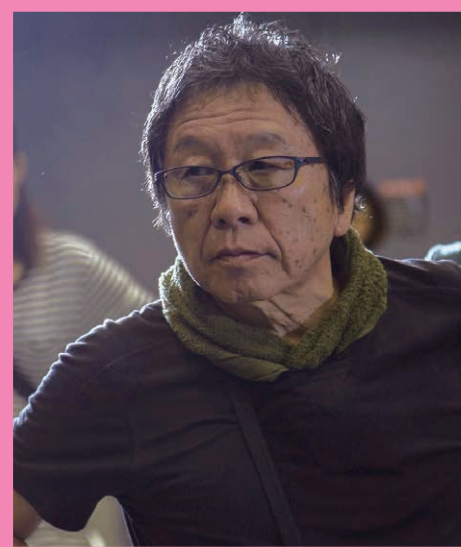
- 20時30分～
トークショー
- 21時45分
終了予定

性と生と死を撮り続ける高橋伴明監督に、
2200人看取った長尾医師が訊く!

ピンク映画と AVの彼岸



高橋伴明監督・
伝説のピンク映画
『襲られた女』の上映つき!



高橋伴明 (映画監督)

※このイベントは都条例により18歳未満の方の入場はできません。御来場者は当日入場の際に年齢の確認できる身分証(免許証、学生証、社員証、パスポートなど公共機関が発行する証明書)の提示が全員必要となります。未成年者へのアルコールの販売も固くお断りします。

とき

2019年10月24日(木)
19時 START
*18時よりOPEN

ところ

LOFT9 渋谷
東京都渋谷区円山町1-5
KINOHAUS(キノハウス) 1F
TEL 03-5784-1239

参加費

前売2,300円 / 当日2,800円
(税込・要1オーダー500円以上)



にて絶賛発売中!!! (ファミリーマート店頭でもご購入いただけます)

